

2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年5月9日

上場会社名 株式会社kubell 上場取引所 東
コード番号 4448 URL <https://www.kubell.com/>
代表者(役職名) 代表取締役兼社長上級執行役員CEO (氏名) 山本 正喜
問合せ先責任者(役職名) 取締役兼上級執行役員CFO (氏名) 井上 直樹 (TEL) 050(1791)0683
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	2,234	15.5	285	129.2	76	—	70	—	△29	—
2024年12月期第1四半期	1,934	36.9	124	—	△13	—	△16	—	△43	—

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 △46百万円(—%) 2024年12月期第1四半期 △43百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	△0.70	—
2024年12月期第1四半期	△1.07	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. EBITDA=営業損益 + 減価償却費及び無形固定資産償却費 + 株式報酬費用。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	5,565	1,579	28.4
2024年12月期	6,113	1,598	26.1

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 1,579百万円 2024年12月期 1,598百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%
通期	9,741～	15.0～	1,000～	16.7～

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	41,873,501株	2024年12月期	41,762,101株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	138,676株	2024年12月期	100,051株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	41,722,308株	2024年12月期 1 Q	40,629,100株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「働くをもっと楽しく、創造的に」というミッションのもと、人生の大半を過ごすことになる「働く」という時間において、ただ生活の糧を得るためだけではなく、1人でも多くの方がより楽しく、自由な創造性を存分に発揮できる社会を実現することを目指し、仕事の効率化や創造的な働き方を実現するサービスの開発・提供に取り組んでおります。

このようなミッションのもと、現在の主力サービスであるビジネスチャットツール「Chatwork」は国内中小企業を中心とした顧客企業の労働生産性の向上や働き方の多様性を提供しており、国内利用者数N01（注1）のサービスとなります。中長期のビジョンとしてこのビジネスチャットの中小企業市場における圧倒的なシェアを背景に、あらゆるビジネスの起点となるビジネス版スーパーアプリとしてプラットフォーム化していく事でさらなる中小企業のDX化に貢献してまいります。

このビジョンを実現するための取り組みとして、当社はBPaaS（Business Process as a Service）を展開しております。BPaaSとは業務プロセスそのものをクラウドサービスとして提供し、企業がクラウド経由で業務アウトソーシング（BPO）を活用できる仕組みです。これにより、企業の業務負担を軽減し、より創造的な業務に集中できる環境を実現します。当社のBPaaSはビジネスチャット「Chatwork」を顧客の業務プロセスに組み込むことで煩雑なコミュニケーションを効率化し、業務を型化してサービスを提供することで、低コストで中小企業の生産性を向上させることを強みとしております。今後も、BPaaSを通じて企業の業務プロセスを最適化し、Chatworkを中心としたプラットフォームの拡大を推進することで、さらなる中小企業のDX化を支援してまいります。

当第1四半期連結累計期間における売上高は2,234,084千円（前年同四半期比15.5%増）、EBITDA（注2）285,934千円（前年同四半期比129.2%増）、営業利益76,028千円（前年同四半期は13,698千円の営業損失）、経常利益70,491千円（前年同四半期は16,922千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は29,338千円（前年同四半期は43,551千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは、従来「Chatworkセグメント」と「セキュリティセグメント」の2つに区分して報告しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「プラットフォーム事業」の単一セグメントに変更しておりますので、セグメント別の記載を省略しております。

ChatworkのARR（注3）、課金ID数、ARPU推移

	2022年12月期 第4四半期	2023年12月期 第4四半期	2024年12月期 第4四半期	2024年12月期 第1四半期	2025年12月期 第1四半期
ARR（百万円）	4,314	5,876	6,873	6,099	6,921
課金ID数（万）	66.8	73.1	78.8	74.3	80.7
ARPU（円）	547.4	672.4	731.7	687.4	719.5

（注）1. Nielsen NetView 及び Nielsen Mobile NetView Customized Report 2024年4月度調べ月次利用者

（MAU:Monthly Active User）調査。調査対象はChatwork、Microsoft Teams、Slack、LINE WORKS、Skypeを含む41サービスを株式会社kubellにて選定。

2. EBITDA=営業損益+減価償却費及び無形固定資産償却費+株式報酬費用

3. ChatworkにおけるAnnual Recurring Revenue（年間経常収益）。各四半期のChatwork売上高×4

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて548,242千円減少し、5,565,740千円となりました。これは主に、現金及び預金が424,808千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて529,112千円減少し、3,986,079千円となりました。これは主に、長期借入金が188,720千円減少、契約負債が111,078千円減少、未払法人税等が156,135千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて19,130千円減少し、1,579,661千円となりました。これは主に、資本金が13,925千円増加、資本剰余金が13,925千円増加、利益剰余金が29,338千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は28.4%(前連結会計年度末は26.1%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月14日に開示しました業績予想からの変更はございません。当社グループの中期経営計画では2026年12月期までに中小企業No.1 BPaaSカンパニーのポジションを確立し、長期的には中小企業市場における圧倒的なシェアを背景に、あらゆるビジネスの起点となるビジネス版スーパーアプリとしてプラットフォーム化していくことを目標としております。2024年12月期から2026年12月期では、中小企業No.1 BPaaSカンパニーの目標に向けてグループ全体の成長を加速させると共に、利益を生み出せる体制の構築を進めてまいります。

中期目標としては2023年12月期から2026年12月期までの連結売上高CAGR30%以上、2026年12月期において売上高150億円、EBITDAマージン10～15%を目指しております。なお、当初はM&A等を除くオーガニックでの目標達成を前提としておりましたが、BPaaS領域でのM&Aロールアップ戦略による成長の蓋然性が高まったため、M&Aの実施を含んだ財務目標へと修正をいたします。

上記方針に基づき、2025年12月期においてはビジネスチャットツール「Chatwork」の普及とBPaaSへの投資おこないながら利益を生み出す体制の構築を進めることで、引き続き高い成長率の維持と収益性の改善を同時に進めてまいります。通期の業績見通しは以下の通りでございます。

	2025年12月期
連結売上高	+15%以上
EBITDA	10億円以上

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,912,928	2,488,119
売掛金	354,506	426,904
前払費用	723,553	599,754
その他	34,924	42,244
貸倒引当金	△194	△2,820
流動資産合計	4,025,718	3,554,202
固定資産		
有形固定資産	2,697	1,373
無形固定資産		
ソフトウェア	1,039,150	958,073
その他	54,962	93,422
無形固定資産合計	1,094,112	1,051,496
投資その他の資産	991,455	958,667
固定資産合計	2,088,265	2,011,538
資産合計	6,113,983	5,565,740
負債の部		
流動負債		
未払金	353,355	326,763
未払費用	256,513	179,194
未払法人税等	230,584	74,448
契約負債	1,982,545	1,871,467
賞与引当金	47,126	37,257
1年内返済予定の長期借入金	706,316	826,528
その他	249,314	183,513
流動負債合計	3,825,756	3,499,173
固定負債		
長期借入金	456,928	268,208
株式報酬引当金	156,249	198,958
退職給付に係る負債	3,459	3,738
その他	72,798	16,001
固定負債合計	689,435	486,905
負債合計	4,515,191	3,986,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,922,256	2,936,181
資本剰余金	2,908,116	2,922,041
利益剰余金	△4,232,517	△4,261,855
自己株式	△115	△115
株主資本合計	1,597,741	1,596,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,768	△2,797
繰延ヘッジ損益	2,818	△13,795
その他の包括利益累計額合計	1,050	△16,592
純資産合計	1,598,791	1,579,661
負債純資産合計	6,113,983	5,565,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	1,934,557	2,234,084
売上原価	666,020	744,955
売上総利益	1,268,537	1,489,128
販売費及び一般管理費	1,282,236	1,413,100
営業利益又は営業損失(△)	△13,698	76,028
営業外収益		
受取利息	8	1,402
ポイント収入額	1,745	1,206
雑収入	59	102
営業外収益合計	1,813	2,711
営業外費用		
支払利息	3,918	5,374
為替差損	118	1,231
その他	1,000	1,641
営業外費用合計	5,037	8,248
経常利益又は経常損失(△)	△16,922	70,491
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△16,922	70,491
法人税、住民税及び事業税	16,172	56,167
法人税等調整額	10,455	43,662
法人税等合計	26,628	99,829
四半期純損失(△)	△43,551	△29,338
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△43,551	△29,338

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純損失(△)	△43,551	△29,338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△1,028
繰延ヘッジ損益	—	△16,613
その他の包括利益合計	—	△17,642
四半期包括利益	△43,551	△46,980
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△43,551	△46,980

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

「II. 当第1四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは、「プラットフォーム事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループの報告セグメントは、従来「Chatworkセグメント」と「セキュリティセグメント」の2つに区分して報告しておりましたが、2024年12月31日にセキュリティ事業を廃止いたしましたので、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを単一セグメントに変更しております。

また、報告セグメントの変更に合わせて「Chatworkセグメント」の名称を「プラットフォーム事業」へ変更しております。当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

この変更により、当社グループの報告セグメントは単一セグメントとなることから、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	77,722千円	130,652千円
のれんの償却額	29,791千円	一千円